

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和 3 年 第 2 回 笠 岡 市 議 会 定 例 会

6 月 1 1 日 ・ 1 4 日 ・ 1 5 日 (3 日 間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 藏本 隆文	1 笠岡市の定員及び業務改善に関する計画について	<p>令和 3 年 5 月の総務文教委員会協議会において、第 7 次笠岡市定員適正化計画(中間改訂版)と第 4 次笠岡市特定事業主行動計画の説明があった。</p> <p>2 つの計画に共通する問題点は、公共サービスの質を落とさず数値目標を達成しなければならない点であり、解決策として業務改善が挙げられている。</p> <p>(1) どのような事柄が、業務改善すべき点と考えるのか尋ねる。</p> <p>(2) 業務改善の具体的手法を尋ねる。</p> <p>(3) 市長の思う笠岡市のワーク・ライフ・バランスは、具体的にどのようなものなのかを尋ねる。</p> <p>(4) 優秀な人材の確保について、人材育成や、専門の中途採用は、どう考えているのか尋ねる。</p> <p>(5) 主要事業説明及び補正予算に、まちづくり協議会の見直しとなっていたが、今後まちづくり協議会と施策をどう関連付けていくのか尋ねる。</p>	市 長 〃 〃 〃 〃
	2 政策、計画立案の手法について	<p>議会が市長に対してよく指摘をしている中で、特に重要なことが 2 点ある。</p> <p>1 点目は、議会と議論すべき場で十分な主張もせず、「広報かさおか」を言い訳や、執行部の正当性を訴える場に使っている。</p> <p>2 点目は、イベント等の計画において、予算を伴うものでありながら、議会の了解なしに、委託しようとしている相手方に空手形を切り、</p>	〃

		<p>相手側にも不愉快にさせてしまうことである。</p> <p>この件がなかなか改まらないのは、改める気がないのか、理解されていないのか分からないが、この度また浮上しているので尋ねる。</p> <p>(1) 「広報かさおか」6月号に、「水道料金の見直し」として1ページ割いているが、この記事を載せる必要性は何なのかを尋ねる。</p> <p>(2) 笠岡市制施行70周年記念事業について、5月の総務文教委員会協議会で企画案が出されていた。企画委員会も立ち上がっていないのに、音楽イベントや岡山放送とサザエさんコラボ等の委託事業が詳細に上がっている。</p> <p>なぜこの時点で、このように上がることになったのかを尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
2 真鍋 陽子	1 新型コロナウイルス感染症について	<p>(1) 65歳以上の方への新型コロナワクチン接種終了は、7月末までに終わるのかを尋ねる。</p> <p>(2) 5月17日の予約開始後、電話がつながりにくい状況が続いていた原因を尋ねる。</p> <p>(3) ワクチン接種予約に困難さを抱えている方々への具体的なサポート体制を尋ねる。</p> <p>(4) 新型コロナワクチン接種において得たこれまでの反省点を、今後いかに教訓として生かしていこうと考えているのかを尋ねる。</p> <p>(5) 笠岡市内における、接種後の副反応が起こった種類と件数、またその対応について尋ねる。</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症に罹患される笠岡市内の方々の増加について、どのように分析をしているのかを尋ねる。</p> <p>(7) 岡山県時短要請協力金の対象から外れている飲食店は、市内に何店舗あるのかを尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		(8) 岡山県時短要請協力金の対象外店舗であるが、新型コロナウイルス感染症拡大により大きな損失を受けている飲食店に対し、何らかの補助を行うことができるのかを尋ねる。	関係部長
		(9) 生理の貧困とは何かについて尋ねる。	〃
		(10) 災害時用に備蓄している生理用品やおむつなどを学校のトイレに設置する、困窮家庭に配布することはできるかを尋ねる。	〃
		(11) 長引く感染症の影響を受け、縮小、停滞している地域経済を、笠岡市として今後いかに立て直しをしていくことができるのか、そのビジョンを尋ねる。	市長
	2 笠岡市制施行70周年記念事業について	(1) 笠岡市制施行70周年記念事業の事業目的は何かを尋ねる。	関係部長
		(2) 新型コロナウイルス感染症が拡大し、地域が疲弊している状況下において、笠岡市制施行70周年記念事業の準備を進めることの意義を尋ねる。	市長
	3 移住・定住政策、関係人口について	(1) 2020年国勢調査結果速報値にて、笠岡市は岡山県内において最大の減少数であった。その原因をどのように分析しているのかについて尋ねる。	関係部長
		(2) 福山市と笠岡市との違い、井原市と笠岡市との違い、里庄町と笠岡市の違いには、何があると考えているかを尋ねる。	副市長
		(3) 新型コロナウイルス感染症の影響で、東京一極集中が緩和され、地方回帰への流れができつつある今、笠岡市として積極的にできる、効果のある移住・定住政策には何があると考えているのかを尋ねる。	関係部長
		(4) 6年目に入った小林市政における移住・定住政策、関係人口増加に対するビジョンを尋ねる。	市長

	<p>4 学校教育について</p> <p>5 成年年齢の引き下げについて</p>	<p>(1) 特別支援教育推進委員会とは何かを尋ねる。</p> <p>(2) 5月24日に行われた第1回会議において、どのような話し合いが行われたのかを尋ねる。</p> <p>(3) 笠岡市内においても1人1台タブレットが配備され、GIGAスクール構想が本格化している中、笠岡市における現状の課題には何があると分析しているのかを尋ねる。</p> <p>(4) 子供の視力低下についての懸念がある。教育委員会として、タブレットの適正利用についてどのように指導をしていこうと考えているかを尋ねる。</p> <p>(1) 民法の改正により、2022年4月から成年年齢が20歳から18歳に変わることの周知、徹底を、市内においてどのように行っているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 成年年齢が下がることで、消費者トラブルが起こることなどが懸念されている。「広報かさおか」などで周知をしていく計画はあるのかを尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
<p>3 栗尾 典子</p>	<p>1 地域学について</p> <p>2 シティプロモーションについて</p>	<p>これまで幼保小中連携教育の中で、自分たちの住む地域や笠岡市の自然、歴史や風土、人物などを知る「地域学」を通し、子供たちの郷土を愛する心や誇りを育ててこられたと認識している。</p> <p>今後、小中一貫教育を進める中で「地域学」にどのように取り組むのかを尋ねる。</p> <p>今年で4年目の取組となるシティプロモーションであるが、笠岡市はシティプロモーションをどのように定義し、何を目的としているのか、シティプロモーションの戦略を尋ねる。</p> <p>(1) 何を目指しているのか。</p> <p>(2) 何をやっているのか。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p> <p>〃</p>

	<p>3 市民への情報伝達について</p>	<p>(3) 企画会社への委託で笠岡市は何を求めているのか。</p> <p>(4) 「カサオカスケッチ」発刊など市民の理解を得ているのか。</p> <p>新型コロナワクチン接種の予約にあたり、混乱が見られた。情報の出し方、伝達方法について検証が必要と思われる。現時点での反省点を尋ねる。また、今後の様々な事態における市民への情報の伝達方法についての考えを尋ねる。</p> <p>(1) メール、LINE 等での情報発信の現状と課題</p> <p>(2) 「広報かさおか」刷新で改善された点と広報紙の目的</p> <p>(3) 笠岡市は多様性に対応した情報伝達をもつとするが、すみ分けとその発信判断の基準は何か。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>4 坂本 亮平</p>	<p>1 持続可能なまちづくりについて</p>	<p>令和2年度の人口動態によると、出生210人、自然減732人、転入転出を合わせ727人の減で46,886人という結果となり、平成27年からの5年間で約4,000名の人口が減少した結果となります。</p> <p>さらに10年後、このまま推移した場合はいよいよ40,000人を切る状況であり、10年後の高齢人口約45%と仮定しても生産人口が50%を切る状況下で、厳しい状況が待っていることは知っておかなければなりません。</p> <p>また、地区別の動態は5地区が人口増となっており、新たな宅地造成や学校、買い物の利便性、地域の関わりなど、生活における環境整備の大切さを改めて感じています。</p> <p>全国的に人口減少が見える中、笠岡市だけが増加することは難しいが、それぞれの地域の特色を生かし、交流人口や関係人口を増やすことでコンパクトな人口増加を望めるのではないかと</p>	

		<p>と考え、様々な視点から質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 新たに観光協会が設立され、新しい展開に期待をするが、日本遺産を通じた島しょ部の観光ばかりでなく、例えばスポーツ協会などと連携をして、笠岡市の立地特性を生かしたスポーツ行事を通じてスポーツツーリズムを構築し、定期的な地域の賑わいを創出できないかを尋ねる。</p> <p>(2) 地域の拠点((例)土倉屋敷・長舗邸など)を活用し、地域住民が主体となって活動するために、固定資産税の減免などの措置を行い、住民が安心して利用できるようにできないかを尋ねる。</p> <p>(3) 島しょ部の安心確保のため、宮阪院長新体制の下、島しょ部医療を再構築し、往診による島間の横移動や複数医師による交代制を構築して、日常的な安心を確保できないかを尋ねる。</p> <p>(4) コロナ禍において、観光客の意識が密やディスタンスを重視する方向に変わってきている。住宅マスタープランの重点施策である中古住宅の多角的な活用にもあるように、現行の空き家対策について、一定数を市の直営で整備して、シェアハウスやサテライトオフィスとして活用、関係人口の増加につなげ、雇用の創出につなげることができないかを尋ねる。</p> <p>(5) 今後様々な分野でDX化へと大きく舵をきっていく中で、まずはふるさと納税や「カサオカスケッチ」など、オンラインにおける関係人口から笠岡ファンを創出することについて、どのような見解をもっているのかを尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p>
--	--	---	---

<p>5 桑田 昌哲</p>	<p>1 今年の長期化する梅雨時期での防災対策</p> <p>2 健康法改定後の笠岡市対応について</p>	<p>全国的に例年より早く梅雨の到来、中国地方も5月15日に梅雨入りとなる。例年では40日程度の梅雨が2か月～2か月半にも及び長期化する。近年は後半での豪雨が発生するケースと大小規模の自然災害が引き起っている。</p> <p>また、その後の台風シーズンの到来も鑑み、現在、どこでも発生しかねない自然災害からどのように市民の方に正確で明確な情報伝達が必要かを考える。</p> <p>笠岡市としても、令和3年3月に改定した笠岡市地域防災計画、風水害対策内での確かな情報伝達活動をする。また、4月28日に国が一部改定した避難情報をこれからどのように市民に周知徹底していくのか。</p> <p>明確で、短文でも分かりやすい情報伝達の方法確認と、安心・安全の観点から笠岡市が考えられている対策を以下2点で尋ねる。</p> <p>(1) 笠岡市としての情報提供・伝達・やり方で市民一人一人が役立つような情報開示をどのようにしているのか。</p> <p>(2) 避難指示、法改正後の市民への周知と避難指示に対しての情報共有をLINE・メールだけでどれだけの市民に周知できると考えるのか。</p> <p>平成30年での健康増進法の一部改定、(内容は望まない受動喫煙の防止)から、たばこを吸っている人がまるで『悪』かのように言われる時代、自分の体に悪いから、周りの人に迷惑をかけるからと様々な、環境変化・健康被害が言われています。ただ、それでも自己管理をしながら吸う人・やめられない人・やめるつもりがない人等様々である。</p> <p>市として、市内全面禁煙ではないのなら、たばこを吸う人と吸わない人への配慮はどのよう</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p>
----------------	---	--	--------------------------------

	<p>3 ラジコン草刈機のその後について</p>	<p>に考え対策をしているのか、また、公共施設についてどのようになっているのか、健康増進法改定による笠岡市としての方向性を尋ねる。</p> <p>昨年、12月補正予算で購入が決定したラジコン草刈機購入後、3月まで市職員と地域教育を実施、4月から実用運行というスケジュールだと認識しています。</p> <p>運用用途は農地だけでなく、イノシン対策や道路のり面の草刈までと多種多様な使用方法と言われていた。その後、笠岡市ホームページで検索しても、ラジコン草刈機の情報に掲載されていないことから、チェック&フォローの観点で2点尋ねる。</p> <p>(1) これまでの運用状況とどのような教育を、場所・方法・案内とどこへ貸出し、成果はどのようなものか。</p> <p>(2) 多種多様の使用運行に変化はあるのか。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
<p>6 仁科 文秀</p>	<p>1 心身障害者医療費助成制度について</p>	<p>「心身障害者医療費助成制度」は、一定の条件を満たす身体障害者・知的障害者が対象となり、医療費の本人負担が1割となっている。</p> <p>この制度に、現在、本人負担が3割の精神障害者を対象に加えることができないかどうか、考えを尋ねる。</p> <p>笠岡市議会では、平成30年9月議会において、議員全員の理解をいただき精神障害者を加えることの請願が採択され、国や岡山県にその実現を願い意見書を提出した。</p> <p>(1) その後、岡山県内の自治体議会において採択が進み、県に意見書を提出する市町村が大幅に増えていると聞く。他市町村の状況を笠岡市では把握しているか尋ねる。</p> <p>(2) 生活実態に基づく弱者救済や障害の種別による差別の解消は、行政の大きな役割だと思うが、考えを尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>

	<p>2 地域の美化とまちづくりについて</p>	<p>(3) この制度は県と市町村が2分の1ずつ負担をしあって運用していく制度である。令和2年6月議会での私の質問には「精神障害者を心身障害者医療費助成制度の対象に含めることについて引き続き岡山県に強く要望していく」と答弁していただいている。</p> <p>どのような働きかけができるか尋ねる。</p> <p>笠岡市がきれいなまちになり、市民誰もが愛着と誇りを持てる郷土づくりに異論を唱える人はいない。</p> <p>(1) 清掃美化活動を行う地域・企業を対象にした「笠岡市道路アダプト事業」がある。</p> <p>この事業への取組状況、問題点について尋ねる。</p> <p>(2) 市内の美化、笠岡市のイメージアップという観点から見ると、市内各所の街路樹の根元や縁石付近の大きく伸びた雑草、雑木が気になる。この部分の草取り・美化は業者等に任せているのか、放置しているのか尋ねる。</p> <p>(3) 地域美化・まちづくりについては、市民ニーズに応じて行政が一方的に行うだけでなく、市民が楽しみながら汗をかくことで、地域課題が解決でき、地域愛が育つと言われる。笠岡市の考えとどのような施策ができるか尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>7 山本 聡</p>	<p>1 笠岡市新病院基本構想について</p>	<p>少子高齢化、人口減少など医療を取り巻く環境は厳しさを増し、人口推計による2025年問題に象徴される医療費の膨張など、懸念されている。こうした背景のもと2014年に「医療介護総合確保推進法」が公布され、2015年に厚労省による「地域医療構想策定ガイドライン」及び総務省による「新公立病院改革ガイドライン」が発出された。</p>	

	<p>2 スマートアイランドの実現に向けて</p>	<p>また、2019年には厚労省は公立病院を再編すべく424の公立病院について病院名を公表し、対応方針が要請された。一方、岡山県は第8次の保健医療計画を見直し、県南西部地域医療構想調整会議においては、現在井笠地域の医療の方向性を協議している。</p> <p>笠岡における新病院の構想について、以下の点について尋ねる。</p> <p>(1) 策定の背景，その必要性について</p> <p>(2) 基本構想の内容</p> <p>(3) 整備事業（建替え）について</p> <p>(4) 笠岡新病院（市民病院）の方向性について</p> <p>(5) 医師の確保について</p> <p>(6) 経営形態の見直しについて</p> <p>島しょ部の著しい人口減少，高齢化の進行，あらゆる分野において，人材不足などの課題に直面している現状を打破するため，産業振興，定住促進，観光開発など地域活性化を模索している中で，新しい技術を導入していくことが課題解決の一つの手段として期待されている。</p> <p>以下の観点から，島しょ部（離島）振興について尋ねる。</p> <p>(1) 再生可能エネルギーの活用</p> <p>(ア) 海洋プラスチックゴミ処理における石油製品化（油化）プラントの建設について</p> <p>(イ) 洋上太陽光発電装置の設置</p> <p>(2) 遠隔医療体制について</p> <p>(ア) 市民病院との連携について（タブレット，アバターロボットの活用など）</p> <p>(3) 観光資源の選択と集中</p> <p>(ア) 市内に分散している石の彫刻の再配置</p> <p>(イ) 島しょ部遊歩道の再整備</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>病院事業 管 理 者</p> <p>〃</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p> <p>〃</p>
--	---------------------------	--	--

<p>8 大本 邦光</p>	<p>1 笠岡市のSDGsへの取組について</p>	<p>持続可能な世界を残すために、国際社会が2030年を目標として取り組む国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」。目標達成年次まで10年を切り、オールジャパンで行動を加速することが、ますます求められています。よって地方自治体であります本市にも目標達成のための貢献が求められており、市民に広くその取組の周知を行う義務と責任が課せられていると考えます。以下、そのお考えと方針についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 内閣府は、SDGs未来都市を選定するなどして地方自治体の積極的な取組を促しています。</p> <p>昨年度、同事業に選定されました倉敷市の取組は、当然ながら倉敷市発展を目的とした事業に限定的であり、高梁川流域の自治体への広がりを見せているとはいえません。そういった中での同事業に関わる意義も鑑みて、ぜひ、笠岡市もSDGs未来都市選定への取組を進めるべきと考えますが、今後のお考えについてお尋ねします。</p> <p>(2) 環境に優しく暖かな木材に溢れた空間は、“住み続けられるまちづくり”，“つくる責任つかう責任”というSDGsの目標にもつながります。また、低層の公共建築物は原則として木造とすることが定められている公共建築物等木材利用促進法に準じて自治体でも国の方針に準じた施策を策定、実施する責務があります。</p> <p>笠岡市が計画する富岡認定こども園(仮称)建設など公共建築物の木造・木質化を目標達成のための手段として取り入れることを期待しますが、木造を入札条件に加えるなど市のお考えをお尋ねいたします。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
----------------	---------------------------	---	--------------------

	<p>2 小児がん網膜芽細胞腫の早期発見について</p>	<p>我が国における小児の死亡原因の第1位はがんとなっています。</p> <p>小児がんの中には、網膜芽細胞腫という網膜に悪性腫瘍が発生する目のがんがあり、出生児の1万5,000人から1万6,000人に1人の割合で発症すると言われております。通常の場合、網膜に腫瘍ができると視力が低下しますが、乳幼児は物が見えにくくなったことをうまく伝えることができないため、発見された時には進行している場合も少なくありません。ある程度、進行すると、目が白く光って見える白色瞳孔や、左右の眼球の向きが合っていない状態、斜視の症状があらわれ、こうした症状に家族が気づいて受診される場合が多く、95%が5歳までに診断されます。腫瘍が眼球内にとどまっている場合、眼球を摘出しないで、可能な限り残す方針で治療することが多いそうです。そのためにも、早期発見が何よりも重要となります。</p> <p>(1) 国では、平成29年1月現在において全国15か所に小児がん拠点病院を指定し、質の高い医療の提供と相談体制の充実を図っています。</p> <p>そこで、網膜芽細胞腫を含む小児がん早期発見につなげることができる本市の取組についてお聞かせください。</p> <p>(2) 本市では、乳児健康診査、1歳6か月、3歳児に乳幼児健康診査が実施されております。</p> <p>小児科の医師による診察も行われ、健康診査票の中には、目についての診察、所見欄もあると思われそうですが、網膜芽細胞腫は白色瞳孔や斜視の症状が現れるため、これらを見逃さない本市の取組についてお尋ねいたします。</p>	<p>関係部長</p> <p>//</p>
--	------------------------------	--	-----------------------

	<p>3 新しい生活様式における図書館のあり方について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、他の公共施設同様に休館及び時間短縮の措置がとられるなど、市民に対して公共図書館としての役割が十分に果たせない事態となりました。今回の経験から見えてきた課題、また新しい生活様式への対応の観点からも、今後の市立図書館のサービスについては、非接触型のサービスを充実させるなど、これまでの利用者の来館や滞在だけを前提とした機能の見直しを図っていく必要があると考えます。</p> <p>(1) 現在は開館中ですが、新型コロナウイルス感染症に対して、どのような対策等を行っているのか、また、来館利用者数の変化についてお示しください。</p> <p>(2) コロナ禍で見えた市立図書館の課題と今後のサービスのあり方についてであります。外出自粛期間中は、読書に親しむいい機会であったと思います。公共図書館としての役割を果たすためには、図書を必要としている人に、図書を提供するための宅配サービス等の取組について、本市のお考えをお尋ねいたします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
<p>9 森岡 聡子</p>	<p>1 人口減と新型コロナウイルス禍における市政について</p>	<p>5年に1度の国勢調査で本県の人口は40年ぶりに190万人を割り込んでいる。16市町村別で減少率が拡大し、減少数が最も多いのは本市の4,434人と発表されている。</p> <p>県は新型コロナウイルス禍に伴う地方分散の動きを受け、移住、定住対策を強化する方針だが、人口減に歯止めをかけるのは難しいとされている。</p> <p>(1) 本市は、人口減対策と先行きの不透明なコロナ禍での地方自治体の対応が問われている。市民は市長の手腕、リーダーシップの発揮を大いに期待しているところであ</p>	<p>市長</p>

		<p>る。所見を尋ねる。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスが市の政策にどのような影響を与えているのかを尋ねる。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症終息後の施策を尋ねる。</p>	市 長
		<p>(ア) 新型コロナウイルスへの対応等，本市が行ってきたコロナウイルス感染対策の検証結果のとりまとめについて</p> <p>(イ) 高齢者等，デジタル弱者への対応について</p>	市 長
		<p>(1) 学校教育法の一部改正により小中一貫教育が「義務教育学校」「小中一貫型小学校・中学校」と位置づけられ義務教育9年間の系統性のある指導が制度として推進される。本市においても推進していくこととしている。次のことについて尋ねる。</p> <p>(ア) 今後の方向性と現在の課題について</p> <p>(イ) 小中一貫教育コーディネーターの役割について</p> <p>(ウ) 保幼小中連携教育の方向性について</p> <p>(エ) 小中一貫教育導入スケジュールについて</p>	〃
	2 本市の教育について	<p>(2) 施設一体型教育校（第一候補の金浦ブロック）の整備について尋ねる。</p> <p>(3) 不登校児童生徒の在宅学習における支援拡大について尋ねる。</p> <p>(4) 国の調査では，17人に1人の中学生がヤングケアラーであると報告があった。教育的配慮からの支援策について尋ねる。</p>	教育長
		<p>令和3年度から令和5年度を計画期間として，笠岡市高齢者福祉推進計画，笠岡市介護保険事業計画「ゲンキプラン21-VIII」が策定された。第8期計画では2040年も見据えている。本市の人口推移をみると令和7年度団塊世代がす</p>	〃
	3 笠岡市の目指す地域包括ケアシステムと地域共生社会の実現について		〃

		<p>べて75歳以上になる。笠岡市では高齢化率38.7%、要支援、要介護認定者は、全国平均、岡山県平均、近隣市町村と比較しても非常に高い割合になっている。</p> <p>(1) 次の目標の4つの柱について、取組状況、進捗率、今後の課題について尋ねる。</p> <p>(ア) 健康づくり、介護予防について</p> <p>(イ) 医療と介護の連携について</p> <p>(ウ) 福祉（児童、障害、介護）について</p> <p>(エ) 生活支援について</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	--	---	--